

上森町長 こんにちは。茅葺屋根は趣きがありますね。少し改装されたんですね？

健介さん 茅葺職人チームに監修してもらって改装しました。

上森町長 そうなんですか。ところで能勢町に来られたきっかけというのは？

健介さん 14年間大阪の谷町でそば屋をやっていたんですが、東日本大震災以降いろいろ考えが変わりまして、郊外で自然と共に生きていきたいと思っただけです。そんな時に知人からここを紹介していただきました。

上森町長 奥さんは能勢町へ来ることに反対はなかったんですか？

朋美さん 私も郊外への憧れがありましたし、子供が自然の中で育ってほしいと思っていたので反対はしなかったです。

上森町長 こうやって家族で能勢町に引っ越していただいたことはすごくありがたいです。

朋美さん 田舎に引っ越したいという若者は周りにいっぱいいますよ。田舎は田舎でも新興住宅ではなく、こういった古民家を求めている方が多いですよ。

上森町長 古民家に憧れる方は多いですね。ところでそばをつくるようになったきっかけというのは？

健介さん そばのシンプルさに魅力を感じたんです。

農家さんから直接そばを仕入れて、皮を剥いて、石臼でひいて、その日の朝に打ってお客様に提供しています。

朋美さん そばは、長野など日本各地から仕入れてきます。ここにお越しただいたからには、能勢で作ったお米



「そば切り蕎屋」の蕎谷健介（つただにけんすけ）さん、朋美（ともみ）さん
「そば切り蕎屋」は、昨年の春に大阪の谷町から能勢町へ移転され、打ちたてのそばをご提供されています。

や、季節の野菜をお客様に食べていただきたいと思って、地元の人からは、お野菜をいただいております。能勢に来てもらった方に能勢の食材を食べていただきたいんです。そばも能勢産であればいいのですが…。

上森町長 地産地消ですね。素晴らしいです！

健介さん いやー、本当に能勢町は面白いところですね。こうやって町長さんと会ってお話ができるし、近所のみなさん優しくしてくれま



すし。
朋美さん みなさん個性があつていいですね。楽しいです。

健介さん 人が近いんです。都会ではこんな深い付き合いなんて経験できませんよ。

上森町長 ありがとうございます。では、最後に能勢町のいいところを教えてください。

健介さん 動いていないところです。都会だと車や人がずっと動いていますからね。都会から来るお客さんはずっと山を見ていますよ。動物がいて、霧が出て、雪が積もって…ここで育つ

いる人には当たり前すぎて分からないと思うんですが、すごく素敵なことなんです。夜が静かなことも実はすごいことなんです。都会だとありえないですからね。能勢町には人間の大事なものがあると思っています。この自然を生かして観光に繋がればいいなと思います。

朋美さん そしてオシャレに魅せることが必要です！オシャレで楽しい場所だとみんな行きたいって思うし、心が惹かれますよね。そこで楽しく過ごしている方を見ると住みたいってなりま

すからね。
健介さん だからって観光バスがバンバン来たらそれはそれで違いますからね。

上森町長 ここは遊園地やレジャーランドではないですからね。この自然の本当の良さを分かってくれる方に能勢町へお越しいただきたいです。

朋美さん 私たちからすれば今は全てが新鮮なので、その感性をうまく活かして、田舎の方と都会の方がコラボできたらいいなと思います。

上森町長 本日はありがとうございます。

今回は、蕎谷ご夫妻からご紹介していただいた方のごところへお邪魔します！お楽しみに♪



左から朋美さん、勇作くん、健介さん、上森町長

そば切り蕎屋

▷能勢町垂水 246

☎072-734-2774

☎月曜日・火曜日